

ads ホスティングサービス 管理者マニュアル

<第 7.1 版>
2021 年 8 月 17 日
株式会社アドバンスコープ

目次

<共通>	3
ホスティングサービスを初めてご利用の方へ	3
コントロールパネルのログイン画面	4
<ドメイン管理者向け>	6
ドメインユーザ（管理者）設定	6
メール設定	8
データベース設定	23
ウェブホスティングアクセス	29
FTP アクセス	30
ログマネージャー	32
保護ディレクトリ	34
ドメインの Web ディレクトリ	37
WEB ユーザ	38
ウェブ統計	40
統計	41
<メールユーザ向け>	42
メールユーザの設定管理	42
メールソフトの設定	49
<その他>	54
FTP ソフトの設定	54

<共通>

ホスティングサービスを初めてご利用の方へ

ホスティングサービスをご利用される際の基礎概念等をご説明します。
ご利用前に必ずお読みください。

1、各ユーザについて

ads ホスティングサービスでは、ドメインユーザ(管理者)、メールユーザ、WEB ユーザの3ユーザが存在します。以下に、3ユーザそれぞれの権限・役割について説明します。

【ドメインユーザ(管理者権限)】

ドメインユーザとは、ホスティングの管理者となる方の事で、新規メールアドレスの登録、メールリングリストの作成および各メールユーザ毎の設定変更や、データベースの設定、Web、ユーザの設定など、お申し込みいただいたホスティング全体の設定を行うことができる管理者です。

(注) ドメインユーザは、すべてのメールユーザ・WEB ユーザの登録・削除等の権限を持っていますので、ドメインユーザ用 ID やパスワードの扱いには特に注意してください。

【メールユーザ】

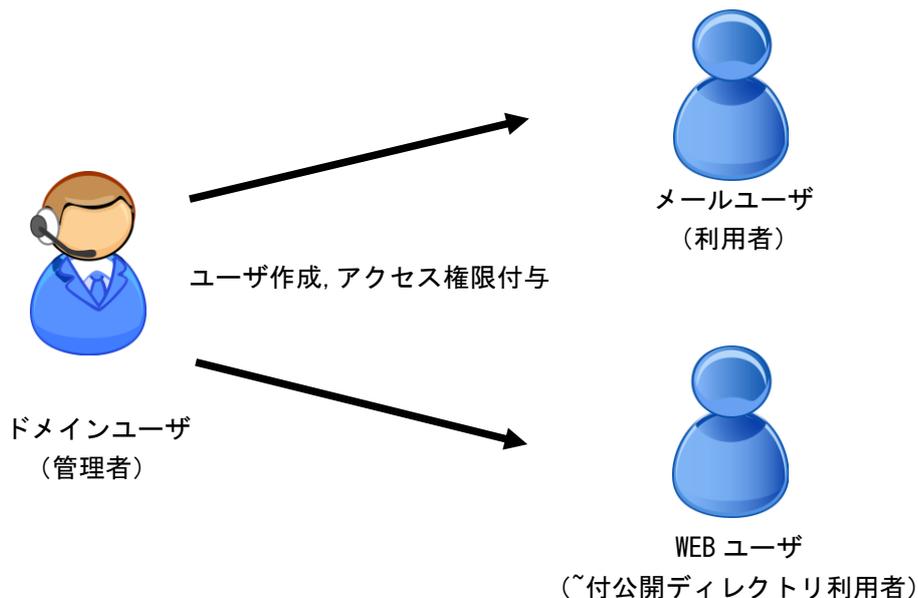
メールユーザとは、お申し込みいただいたホスティングで、各々に付与されたメールアカウント、パスワードを用いて、メールの送受信が行えるユーザの事です。

メールユーザは、ドメインユーザにコントロールパネルのアクセス権限[Application User]を付与されている場合には、メールユーザご自身のメールアドレスに関する各種設定を行う事ができます。

【WEB ユーザ】

WEB ユーザとは、お申し込みいただいたホスティングで「http://DomainName/~(WEB ユーザ)」で各種コンテンツを公開することができるユーザの事です。

ドメインユーザが、WEB ユーザ設定を行った後、WEB ユーザは、各々に付与された ID とパスワードで、指定されたディレクトリへFTP アクセスし、ファイルをアップロードすることができます。

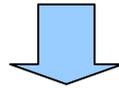
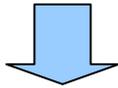


2. ドメインユーザの各ユーザ登録・設定作業

ドメインユーザによる、ホスティング利用開始時の初期設定手順を説明します。

【作業の流れ】

ドメインユーザによる
ドメインユーザ設定、メールユーザ設定、
Webユーザ設定 ※次ページ移行参照



メールユーザによるメールのソフトの設定
※最終章参照

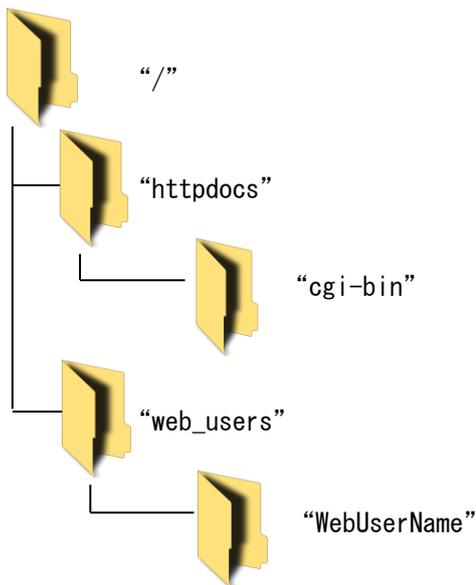
WEBユーザによるFTPソフトの設定
※最終章参照



必要に応じて

ドメインユーザ・メールユーザによる
パスワードの変更、メール転送設定等

3. Web ディレクトリ構造について



ルートディレクトリ

http://DomainName/ https://DomainName/で使用する html ファイル、画像ファイル等を設置する。

http://DomainName/ , https://DomainName/ で使用する Cgi スクリプト置き場

http://DomainName/~WEBUserName で使用する html ファイル、画像ファイル等

コントロールパネルのログイン画面

システム情報に記載されている、コントロールパネルの URL へアクセスすると次のログイン画面が表示されます。

※「接続がプライベートではありません」のメッセージが表示された場合は、「詳細設定」ボタンから「〜に進む（安全ではありません）」をクリックしてください。



The screenshot shows the Plesk web host edition login page. The header includes the Plesk logo and "web host edition". The form contains the following fields: "ユーザ名" (Username) with an input field; "パスワード" (Password) with an input field and a toggle icon; "インターフェース言語" (Interface language) with a dropdown menu set to "デフォルト" (Default); and a link for "パスワードを忘れた場合" (Forgot password). A large blue "ログイン" (Login) button is at the bottom, and a "Cookie" link is located below it.

ドメインユーザ又は許可されたメールユーザがログインし、コントロールパネルにアクセスできます。ログイン ID、パスワードを入力します。

入力が完了したら、「ログイン」ボタンをクリックします。

※WEB ユーザには、コントロールパネルはありません。

<ドメイン管理者向け>

ドメインユーザ(管理者)設定

できること

- ・ドメインユーザパスワードの変更が行えます。
- ・FTP のパスワードの変更など
- ・メールユーザの追加や各種設定。



【ドメインユーザ】

ドメインユーザのパスワードを変更する際、左メニューの「アカウント」→「マイ・プロフィール」を開き Plesk プリファレンス内の「パスワード」のフィールドに新たなパスワードを入力します。「OK」ボタンをクリックし設定が完了となります。**※パスワード登録が行える条件は大文字と小文字、数字、特殊文字を組み合わせた 8 文字以上のパスワードです。**



【FTP パスワード設定】

FTP パスワードを変更する場合は、「ウェブサイトとドメイン」タブから「FTP アクセス」をクリックします。「FTP アクセス」が隠れている場合は、画面中にある「展開」をクリックします。

The screenshot shows the Plesk control panel interface. On the left is a dark sidebar with navigation items: 'ウェブサイトとドメイン', 'メール', 'アプリケーション', 'データベース', '統計', 'ユーザ', 'アカウント', and 'WordPress'. The main content area is titled 'ウェブサイトとドメイン' and shows details for a website named 'rain-shibuya.org'. Below this, there are sections for 'メール' and 'データベース'. A central section for 'WordPressテストnoテーマ' includes buttons for 'ログイン', 'セキュリティチェック', 'プラグイン', 'テーマ', '複製', and 'データをコピー', along with update notifications. At the bottom, a grid of service tiles is visible, with the 'FTP アクセス' tile highlighted by a red dashed box. Other tiles include 'ウェブホスティングアクセス', 'PHP Composer', 'Apache と nginx の設定', 'アプリケーション', 'SSL/TLS 証明書', 'Node.js', 'ウェブ統計', 'ホスティング設定', 'PHP 設定 (v7.3.22)', 'Ruby', and 'ウェブ統計 SSL/TLS'.

パスワード変更を行いたい「FTP アカウント名」を選択します。

※標準ではドメイン名のアカウントが1つだけ表示されています。

「ウェブユーザ」からユーザを追加した場合は、そのユーザも表示されます。

「パスワード」、「パスワード確認」フィールドに任意の値を入力します。

「OK」ボタンをクリックし設定が完了となります。

※パスワード登録が行える条件は大文字と小文字、数字、特殊文字を組み合わせた 8 文字以上のパスワードです

The screenshot shows the 'FTP Access' configuration page in Plesk. The page title is 'rain-shibuya.org のウェブホスティングアクセス'. It contains fields for 'IP アドレス' and 'システムユーザ'. Below these, there are input fields for 'ユーザ名*', 'パスワード', and 'パスワードの確認'. The 'パスワード' and 'パスワードの確認' fields are highlighted with a red dashed box. There are also buttons for '生成' and '表示' next to the password field. At the bottom, there is a checkbox for 'SSH 経由のサーバアクセス' which is currently unchecked.

メール設定

できること

- ・メールアドレスの作成
- ・詳細なログインユーザの作成
- ・ウイルス対策機能の設定
- ・スパムフィルタ機能の設定
- ・メールアドレスの管理（メールアドレスの確認、設定変更）
- ・メーリングリストの管理

ご注意

管理者用の ID、パスワードは決して他に漏れることのないように管理してください。また、パスワードは定期的に変更することをおすすめします。

パスワードとして登録できる条件は大文字と小文字、数字、特殊文字を組み合わせた 8 文字以上のパスワードです。

【メールアドレスの作成】

- 1、新たにメールアドレスを追加する場合は、「メール」タブから「メールアドレスを作成」をクリックします。



◆その他のメニューの説明

※メール設定

メール、及びメーリングリスト自体の使用の有効化/無効化、Web メールの有効化/無効化が設定できます

※メーリングリスト

メーリングリストの作成、削除等が設定できます。

2、新たに追加するメールアドレスの各情報をフィールドに入力します。

メールアドレス*

Plesk へのログインに使用可能

外部のメールアドレス

パスワード

パスワードの確認

メールアドレスを作成する場合は、「メールアドレス」と「パスワード」（生成ボタンによる自動生成を推奨）を設定すればそのメールアドレスが利用できるようになります。作成後はメールソフト（Outlook 等）に設定を行ってください。

※「Plesk へのログインに使用可能」のチェックをオンにした場合、左メニュー「ユーザ」にも同時に登録されます。登録されたユーザはこの管理画面にログインでき、そのメールアドレス利用者自身がパスワード変更等を行う事ができます。

◆その他のメニューの説明

※転送

受信したメールを別のメールアドレスに転送する設定が出来ます。

※メールエイリアス

代理メールアドレスの設定。ここに設定したメールアドレスについても受信するという設定。

[例] メールアドレスは sale@～ だが、sales@～についても受け付ける等

※自動応答

自動的に返信を行う設定。長期不在時等にその旨を自動返信する等という事が設定できます

※スパムフィルタ

迷惑メール自動判定機能の設定

※アンチウイルス

ウイルススキャンのオン/オフが設定できます。

▼メールユーザへの伝達事項

項目		説明	例
コントロール パネル関 連情報※	URL	システム情報用紙 管理者 URL と同じ	https://domain-name:8443/
	ログイン ID	「ユーザ」にて表示される「担当者名」 がログイン ID になります。	xxx@domain-name
	パスワード	管理者が設定したパスワード	* * * * *
メール関連 情報	メールアドレス	ユーザー名@ドメイン名	user-name@domain-name
	アカウント (POP ID)	メールアドレスと同一	メールアドレスと同一
	パスワード	管理者が設定したパスワード	* * * * *
	POP サー バ	pop. ドメイン名	登録書記載のPOPサーバ名
	SMTP サーバ	smtp. ドメイン名	登録書記載のSMTPサーバ名
	送信ホ スト番 号	送信ポート番号	587
		SMTP (SMTP AUTH)	送信認証プレーンテキストをオンにして ください。

【メールユーザの管理】

設定済みメールユーザの編集や削除などを行えます。

コントロールパネルの「メール」 - 「メールアドレス」タブを選択すると、「メールユーザー一覧画面」が表示されます。

The screenshot shows the Plesk control panel interface. On the left is a dark sidebar with the 'plesk' logo and a navigation menu including 'ウェブサイトとドメイン', 'メール', 'アプリケーション', 'データベース', '統計', 'ユーザ', 'アカウント', and 'WordPress'. The main content area is titled 'メール' and has a search bar at the top. Below the title are three tabs: 'メールアドレス', 'メール設定', and 'メールリングリスト'. A descriptive paragraph explains that users can create and manage email accounts, set up mailboxes, and configure forwarding. Below this are three buttons: 'メールアドレスを作成', '使用量統計を更新', and '削除'. A table lists '全 2 件' of email addresses with columns for 'メールアドレス' and 'ユーザ'. The table contains three rows of blurred data.

【メールアドレスの編集】

メールアドレス設定を編集する場合は、「メールユーザー一覧画面」に表示されている対象となるメールユーザを選択します。「メールアドレス編集画面」が表示され、以下の項目について設定できます。

The screenshot shows the 'Edit Email Address' configuration page in Plesk. The sidebar is the same as in the previous image. The main content area has a breadcrumb 'メール > メールアドレス >' and a large header for the email address 'abc@nat-fish.org'. Below are several tabs: '全般', '転送', 'メールエイリアス', '自動応答', 'スパムフィルタ', and 'アンチウイルス'. A paragraph explains that if a user is linked to the account, their login name and password will change when the email address is updated. The form includes: 'メールアドレス*' (with a dropdown), a checkbox for 'Plesk へのログインに使用可能' (checked), '外部のメールアドレス' (with a text input), 'パスワード' (with a text input and '生成'/'表示' buttons), 'パスワードの確認' (with a text input), a checkbox for 'メールボックス' (checked), and a radio button for 'デフォルトサイズ (無制限)' (selected) with a '別のサイズ' option and a 'KB' dropdown. A 'Plesk での説明' field is at the bottom.

以降では各項目のタブについて説明します。

【全般について】

「全般」ではメールアドレスの基本的な設定が行えます。

全般	転送	メールエイリアス	自動応答	スパムフィルタ	アンチウイルス
このメールアカウントに追加ユーザが紐付けられている（顧客パネルへのアクセスが有効である）場合、このページでパスワードを変更すると、追加ユーザのログイン名とパスワードが新しい値に変わります。					
メールアドレス *	①	<input type="text"/>			
<input checked="" type="checkbox"/> Plesk へのログインに使用可能（ユーザ名： <input type="text"/>)	②				
外部のメールアドレス	③	<input type="text"/>	メインのメールアドレスにアクセスできなくなった場合に、パスワードのリセットに使用されます。		
パスワード	④	<input type="password"/>	メールボックスへのアクセス用と Plesk へのログイン用に使用されます（該当するオプションが有効である場合）。		
		<input type="button" value="生成"/> <input type="button" value="表示"/>			
パスワードの確認		<input type="password"/>			
<input checked="" type="checkbox"/> メールボックス	⑤	⑥	<input checked="" type="radio"/> デフォルトサイズ（無制限） <input type="radio"/> 別のサイズ <input type="text"/> KB <input type="button" value="v"/>	メールボックスのサイズは、デフォルトサイズより大きくできません。	
Plesk での説明	<input type="text"/>				

①	現在のメールアカウントが表示されます。メールアカウントを変更する場合はこの項目を編集してください。
②	コントロールパネルを有効にする場合はチェックを入れます。外すとコントロールパネルへのログインが行えなくなります。
③	パスワードリセット用の予備のメールアドレスを設定しておくことで、パスワード忘れに対応できます。
④	メールアドレスのパスワードを変更できます。なお、ここを変更するとコントロールパネルのログインパスワードも変更した内容に変わります。
⑤	メールボックスを有効にする場合はチェックを入れます。外すとメール受信が行えなくなります。
⑥	メールボックス容量制限はデフォルトでは「デフォルトサイズ（無制限）」に設定されています。個々のメールアドレス毎に容量制限を設定する場合は、「別のサイズ」左隣にチェックを入れ、メールボックス容量（KB・MB 単位）を入力します。

【転送について】

転送では、該当のメールアドレスで受信したメールを別のメールアドレスへ転送する設定が行えます。

「メール転送を有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、転送先となる別のメールアドレスを「転送先アドレス」に入力を行い(複数のアドレス指定が可能)「OK」ボタンをクリックします。

全般 **転送** メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

1つ以上のメールアドレスへのメールメッセージの転送をセットアップします。 [全般] タブでメールボックスを設定します。

メール転送をオンにする

受信メールを次のメールアドレスに転送

メールアドレスを指定してください。複数のアドレスを入力する場合は、改行、スペース、コンマ、またはセミコロンで区切ります。

【メールエイリアスの設定】

メールエイリアス機能とはメールアドレスに対して、別名（エイリアス）のメールアドレスを設定できる機能です。メールエイリアスのアドレス宛に届いたメールは、設定元のメールアドレスに配信されます。

メールエイリアス機能を利用することにより、状況や用途に応じてメールアドレスを使い分けることができます。

全般 転送 **メールエイリアス** 自動応答 スпамフィルタ アンチウイルス

メールエイリアスとは、プライマリメールアドレスと紐付けられている代替メールアドレス。

メールエイリアス

メールエイリアスを追加

メールエイリアスのフィールドへ別名として登録したいメールアドレスの入力を行い、「OK」ボタンをクリックすると、メールエイリアスの設定が完了します。

【自動返信】

自動返信ではメールを受信した際に自動的にメールを返信する設定が行えます。長期休暇時などメール返信が行えない時に使用します。

全般 転送 メールエイリアス **自動応答** スпамフィルタ アンチウイルス

自メールアドレス宛てのすべてのメールメッセージ用に自動応答をセットアップします。自動応答は出張や休暇で不在

① 自動応答をオンにする

自動応答メールの件名 * ②

メッセージ形式 ③ テキスト
 HTML
テキスト形式はあらゆるメールクライアントプログラムで処理できます。したがって、メール作成者が作成した通りに受信者に表示されます。一方、HTML形式では、さまざまなフォントスタイルを用いて書式付きのテキストを入力できるため、見栄えのするメールを作成できます。ただし、HTMLメッセージに対応しないクライアントを使用している受信者には、書式付きテキストが表示されない可能性があります。

エンコーディング ④ UTF-8
エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。推奨されるエンコーディングはUTF-8です。

自動応答メールのテキスト ⑤

転送先 ⑥
自動応答の送信時に、ここで指定されたメールアドレスへオリジナルメッセージが転送されます。

同一メールアドレスに対する自動応答の送信回数の上限（1日あたり） * ⑦

添付ファイル ⑧ ファイルが選択されていません
[添付ファイルを追加](#)

指定日に自動応答をオフにする ⑨ 01 1月 2021

①	自動返信を有効にしたい場合はチェックを入れます。
②	自動返信メールの件名になります。変更しない場合は「Re: “相手のメール件名”」になります。
③	メール形式をテキスト/HTML から選択：通常、テキスト形式で問題ありません。
④	文字エンコーディング：特別な状態でない限りは、UTF8 で問題ありません。
⑤	自動返信メールの本文を入力します。
⑥	自動返信有効時に受信したメールの転送を行いたい場合は転送先メールアドレスを記載します。
⑦	同一メールアドレスに対する自動応答送信回数の上限（1日あたり）
⑧	添付ファイルを付ける場合は選択します
⑨	自動返信をオフにする日を指定します

【ウイルス対策機能の設定】

「アンチウイルス」タブを選択して、「このメールアドレスに対してアンチウイルス防御を有効にする」にチェックを入れます。

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 スпамフィルタ **アンチウイルス**

アンチウイルスサービスは、ウイルスが含まれるメールメッセージをブロックして送信者と受信者との間でメールのやり取りを妨げません。

このメールアドレスに対してアンチウイルス保護をオンにする

ウイルスチェック

- 受信メールのみ
- 送信メールのみ
- 送信メールと受信メール

ウイルスチェックを行う対象を選択して、「OK」ボタンを選択します。

【スパムフィルタ機能の設定】

「スパムフィルタ」タブを選択して、「このメールアドレスに対してスパムフィルタをオンにする」にチェックを入れます。設定が完了しましたら「OK」をクリックしてください。

全般 転送 メールエイリアス 自動応答 **スパムフィルタ** アンチウイルス

スパムフィルタリングサービスは、そのメールアドレス宛てに送信されたスパムメールを検出します。スパムメールをスパムフォルダにスパムメールを移動するように、スパムフィルタを設定できます。スパムフィルタは、スパムの署名を識別

① このメールアドレスに対してスパムフィルタをオンにする

スパムとして分類されたメッセージに対する処理

② スпамメッセージの件名に指定テキストを追加する

SPAM

テキストを追加したくない場合は、このフィールドを空白のまま残してください。メッセージの件名にスコアを含めたい場合は、_SCORE_ と入力してください。

スпамメッセージをすべて削除する
スパムメッセージは受信ボックスから削除されます。

スпамをスパムフォルダに移動する
スパムメッセージをすべて「スパム」フォルダに移動します。このフォルダは、メールクライアントプログラムまたはウェブメールからアクセスできます。IMAP メールアカウントをご使用の場合は、スパムフォルダを用いてスパムフィルタを学習させることができます。

③ [詳細な設定を表示](#)

1	チェックを入れると該当メールアドレスのスパムフィルタが有効になります。
2	上から順に ・迷惑メールが他のメールとすぐに見分けがつくように迷惑メールの件名には指定した文字列が追加されます。(デフォルトでは*****SPAM*****) ・迷惑メールと見なしたメールを強制的に削除を行い、受信を行わなくなります。※ ・迷惑メールを「web メール」の「SPAM フォルダ」に移動します。
3	より高度なスパムフィルタの設定を行います。

※ 迷惑メールの誤検出も考えられるため②は選択しない事を推奨します。

●スパムフィルタの高度な設定

「詳細な設定を表示」を選択した場合、スパムフィルタのより詳細な設定が行えます。

[^ 詳細な設定を隠す](#)

フィルタ感度

スパムフィルタは、各メッセージのコンテンツと件名に対して複数のテストを実施します。その結果、各メッセージには複数です。デフォルトで、スコアが7ポイント以上のメッセージをスパムと分類するようにフィルタ感度が設定されています。現状感度を上げます。必要なメールまで迷惑メールとして処理されている場合、フィルタ値を大きくして（「8」など）フィ

スパムフィルタの感度* ①

ホワイトリスト

ホワイトリストに含まれる送信者からのメールはチェックされません。

ホワイトリスト ②

ドメイン名を1行に1件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード（* および ?）を使用できます（例：*@domain.com, user?@*.com）。

ブラックリスト

ブラックリストに含まれる送信者からのメールはスパムとして分類されます。

ブラックリスト ③

ドメイン名を1行に1件ずつ入力してください。アドレスにはワイルドカード（* および ?）を使用できます（例：*@domain.com, user?@*.com）。

①	スパムフィルターの感度を調整します。 デフォルトでは、スコアが7ポイント以上のメッセージが全てスパムと分類されるようにフィルタ感度が設定されます。スコア値「(高) 1~99(低)」まで指定する事ができます。正常なメールがスパム判定される場合は低いスコア値に変更を行い、逆に迷惑メールがスパム判定されない場合は高いスコア値に変更を行う事で判定内容の調整が行えます。
②	特定のメールアドレス、ドメインからのメールを スパムメールと分類したくない 場合、「ホワイトリスト」へ対象となるメールアドレスを入力します。※2
③	特定のメールアドレス、ドメインからのメールを スパムメールと分類したい 場合、「ブラックリスト」へ対象となるメールアドレスを入力します。※2

【メールユーザの削除】既存のメールユーザを削除することができます。
特定のメールユーザを削除する場合、メールユーザの一覧画面で削除するメールユーザアカウントにチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。

メールアドレス メール設定 メールリングリスト

ドメインに紐付けられたメールアカウントを作成・管理します。メールアカウントごとに、メールボックス、同じメールへのメール転送などをセットアップすることができます。また、アンチスパムやアンチウイルスのサービスを使用でき

+ メールアドレスを作成 使用量統計を更新 ✕ 削除

全2件

<input type="checkbox"/>	メールアドレス↑	ユーザ
<input type="checkbox"/>	[blurred]	[blurred]
<input type="checkbox"/>	[blurred]	[blurred]



削除するメールユーザに間違いがないか確認が求められますので、問題なければ「はい」を選択してください。

✕ 選択したメールアドレスを削除しますか？

【メーリングリストの新規作成】

メーリングリストメンバーが、同じメーリングリストメンバー全員にメールを同報することができます。

※メーリングリストメンバー以外の参加はできません。

※トップメニュー→メール設定→「メーリングリスト有効化」にチェックが入っている事をご確認ください。

●メーリングリスト新規作成

メール設定画面で、「メーリングリスト」タブをクリックすると次のような画面が表示されます。



次に「メーリングリストを作成」ボタンをクリックし作成を行います。

①	メーリングリストとして使用するメールアドレスを入力します。
②	メーリングリスを有効にする場合チェックを入れます。
③	メーリングリスト管理者のメールアドレスを入力します。
④	メーリングリスト管理画面のパスワードを入力します。
⑤	メーリングリストに参加するメールアドレスを登録します。
⑥	チェックを入れると追加されたメーリングリストの情報がメールで送付されます。

【メール設定】メールに関わる各種設定を行う事ができます。

●メールサービスの有効/無効設定

「メール」タブ > 「メール設定」タブをクリックします。画面左にあるチェックボックスを入れ、画面上部「サービスのアクティブ化/非アクティブ化」をクリックします。



各サービスの有効/無効が設定できる画面が出てくるため、有効化/無効化の設定を行えます。設定が完了しましたら、「OK」ボタンをクリックします。

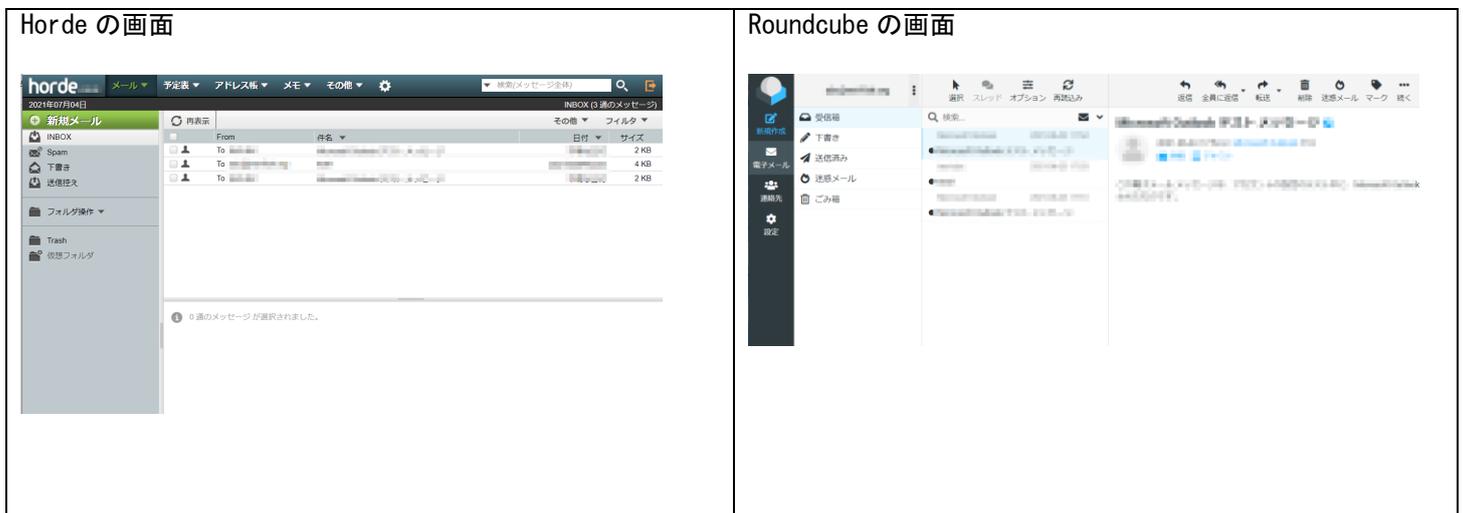


●ウェブメールの有効/無効設定

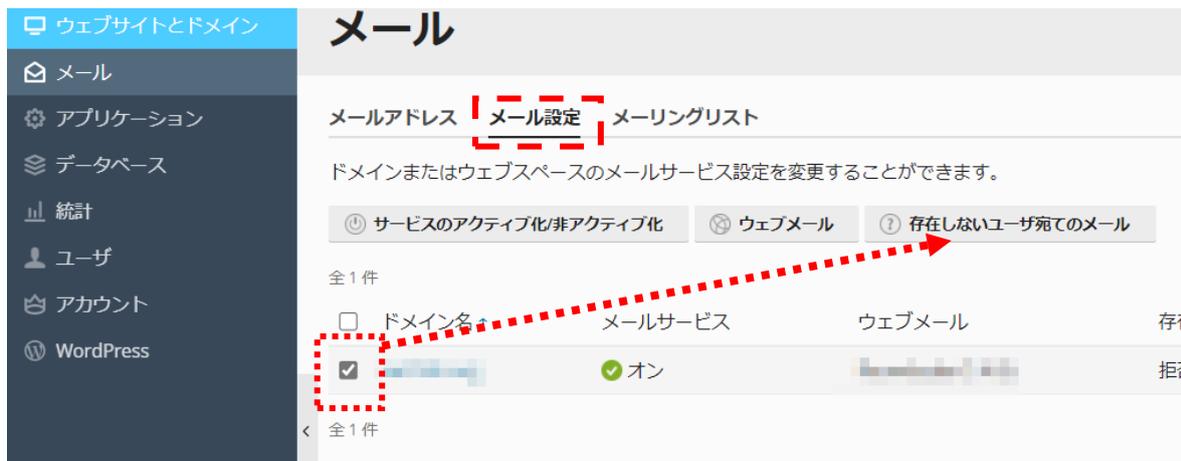
「メール」タブ > 「メール設定」タブをクリックします。画面左にあるチェックボックスを入れ、画面上部「ウェブメール」をクリックします。



使用できるウェブメール + なし の選択が設定できる画面が出てくるため、無効にしたい場合は「なし」を有効にしたい場合は「Horde」又は「Roundcube」を選択してください。設定が完了しましたら、「OK」ボタンをクリックします。



●存在しないユーザ宛のメール設定存在していないユーザ宛てにきたメールの取り扱いについて設定を行います。「メール」タブ > 「メール設定」タブをクリックします。画面左にあるチェックボックスを入れ、画面上部「存在しないユーザ宛てのメール」をクリックします。



選択したドメインに存在しないユーザ宛てのメール

選択したドメインに存在しないメールアドレス宛てに送信されたメールの処理方法をセットアップします。

存在しないユーザに宛てたメールの処理

① メッセージ付きでパウンサーの処理

② 指定アドレスに転送

③ 拒否

適用対象のドメイン

OK キャンセル

①	送付先にメッセージ付で返信します。（非推奨）
②	存在していないユーザ宛てにきたメールを指定アドレスに転送します。
③	存在していないユーザ宛てにきたメールを拒否します。（推奨）

データベース設定

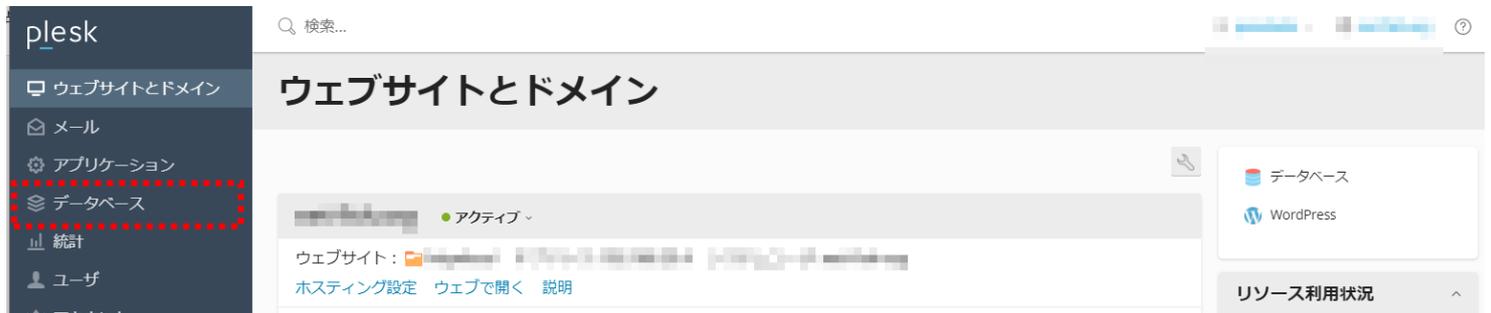
MariaDB 又は PostgreSQL データベースを設定できます。

できること

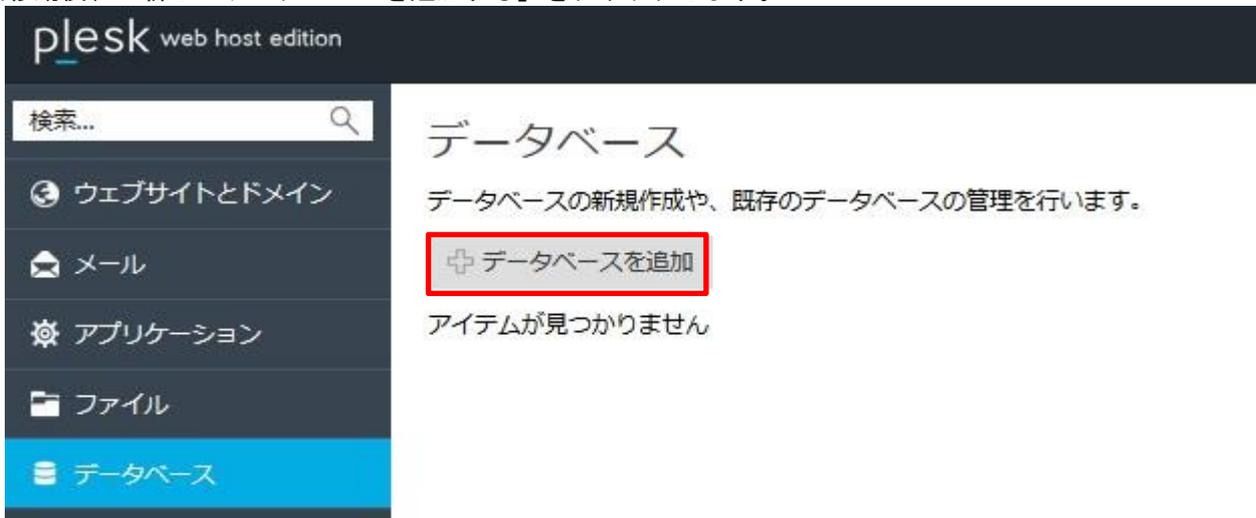
- ・データベースの作成・削除
- ・データベースユーザアカウントの作成・変更・削除
- ・ファイルのインポート

【データベースの作成】

1、ドメイン管理者画面>「データベース」を選択します。



2、画面移動後、「新しいデータベースを追加する」をクリックします。



3、「データベース名」欄に作成するデータベース名の入力を行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

データベースを追加

全般

データベース名 * ①

データベースサーバ ②

関連サイト ③

ユーザ

デフォルトのデータベースユーザを作成します。Pleskはこのユーザの代理としてデータベースに合、このデータベースにはアクセスできません。

④ 新しいデータベースユーザを作成

データベースユーザ名 * ⑤

パスワード * ⑥

パスワードの確認 *

ユーザは選択した契約内のすべてのデータベースにアクセスできます。

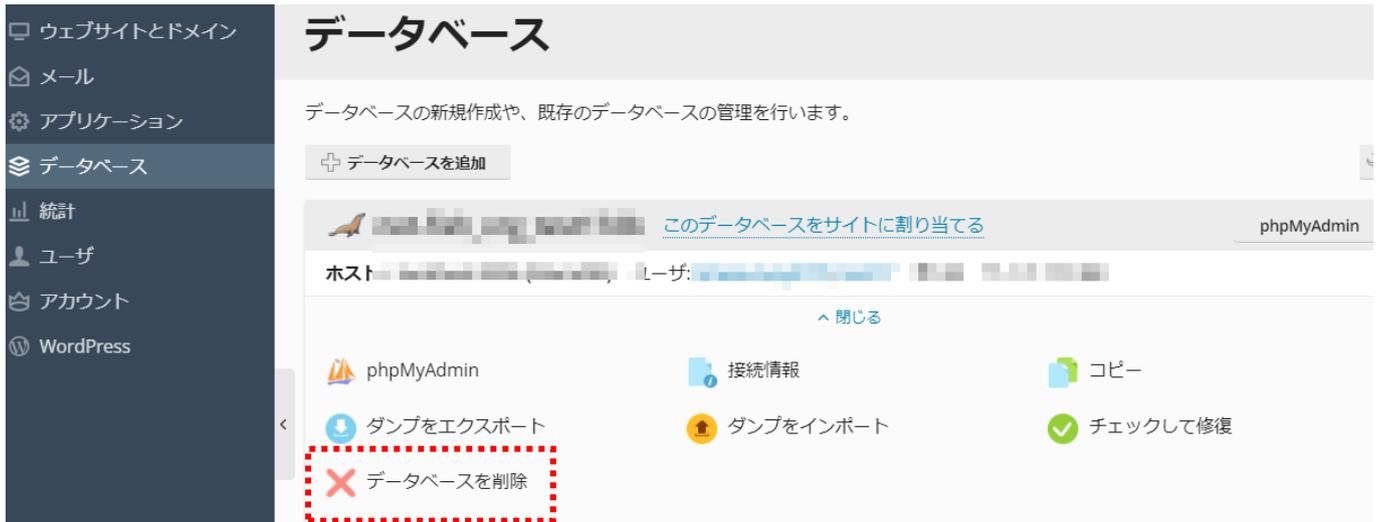
* 必須フィールド

①	作成するデータベース名の入力を行います。
②	使用するデータベースの種類を選択します (MariaDB 又は PostgreSQL)
③	自身の使用しているドメインを選択します
④	データベースを操作する際に使用するユーザを作成する場合はこちらにチェックを入れます。 (データベースを初めて作成する場合は、データベースユーザを作成する事をお勧めします。)
⑤	作成するデータベースユーザ名を入力します。(任意のもので構いません。)
⑥	データベースユーザ名のログインパスワードを作成します。

※⑤、⑥は作成したデータベースを操作する際に使用します。

【データベースの削除】

1、「データベース」タブ>「データベースを削除」を選択します。



2、削除の確認画面が表示されますので、問題なければ「はい」ボタンをクリックすると削除が完了します。



(注) データベースを削除されますと元に戻せませんので、対象データベース、対象データベースユーザをご確認の上、削除してください。

【データベースユーザアカウントの変更】

1、「データベース」タブ>「ユーザ管理」を選択します。

データベース

データベースの新規作成や、既存のデータベースの管理を行います。

データベースを追加

ユーザ管理

このデータベースをサイトに割り当てる

phpMyAdmin

接続情報

コピー

ダンプをエクスポート

ダンプをインポート

チェックして修復

データベースを削除

2、画面遷移後、変更したいデータベースユーザを選択します。

データベースユーザ

データベースユーザを追加

削除

全12件

名前	データベース	データベースサーバ
すべてのデータベース		

3、設定変更を行いたいデータベースユーザ名を選択後、下記に従い設定を行います。

データベースユーザ

データベースサーバ

データベースユーザ名 * ①

パスワード ②

パスワードの確認

データベース ③

デフォルトでこのユーザのクレデンシャルを PhpMyAdmin へのアクセスに使用

役割

[^ 権限を隠します。](#) ④

データアクセス

- Select
- Insert
- Update
- Delete

構造アクセス

- Create
- Drop
- References
- Alter
- Index
- Create Temporary Tables
- Lock Tables
- Create View
- Show View
- Create Routine
- Alter Routine
- Execute
- Event
- Trigger

* 必須フィールド

①	変更を行いたいデータベースユーザ名を入力します。
②	変更を行いたいデータベースパスワードを入力します。
③	データベースユーザが操作できるデータベースを指定します。
④	役割データベースで行える権限を設定します。より詳細な権限設定は「データアクセス」、「構造アクセス」で行えますが、特別な理由がない限り操作する事はお勧めしません

【データベースの詳細な設定】

1、「データベース」タブ>「phpmyadmin」を選択します。



2、phpMyAdmin データベース管理ツールのインターフェースが別のブラウザウィンドウに開きます。



※「phpMyAdmin」ご利用方法の詳細は下記サイトをご参照ください。

<http://www.phpmyadmin.net>

※オープンソースのソフトウェアとなり、詳細な操作につきましては弊社サポート対象外となります。恐れ入りますがWEB や参考書籍にてご確認ください。

ウェブホスティングアクセス

できること

- FTP またはファイルマネージャを使用して契約内のファイルとフォルダを管理するシステムユーザのパスワード変更

【ウェブホスティングアクセス】

- 「ウェブサイトとドメイン」タブ>「ウェブホスティングアクセス」を選択します。



- パスワード内を入力する事でFTP やファイルマネージャで使用するパスワードを変更します。

※「FTP アクセス」で表示される同名のユーザ名とここで表示するユーザ名は同一です（どちらからの設定でも同じ）



FTP アクセス

できること

- ・FTP 接続時ユーザの設定変更や追加を行う事ができます。

【新規 FTP ユーザを追加する】

- 1、「ウェブサイトとドメイン」タブ>「FTP アクセス」を選択します。



- 2、FTP アカウント移動後、FTP アカウントを追加をクリックします。



3、画面移動後、下記に従い設定を入力します。

追加 FTP アカウントを追加

自社のウェブサイトで他のユーザと共同作業したり、他のユーザにサブド

全般

FTP アカウント名 * ①

ホームディレクトリ * ② 

パスワード * ③

パスワードの確認 *

* 必須フィールド

①	新規に FTP で接続するためのユーザ名を入力します。
②	追加する FTP ユーザがログイン時に最初に入るディレクトリ（フォルダ）を入力します。
③	新規に FTP で接続するユーザのログイン時に使用するパスワードを入力します。

ログマネージャー

できること

・ドメインに関連した Web ログ、ダウンロード

【ログの確認】

1、「ウェブサイトとドメイン」タブ>「閲覧」>「ログ」を選択します。



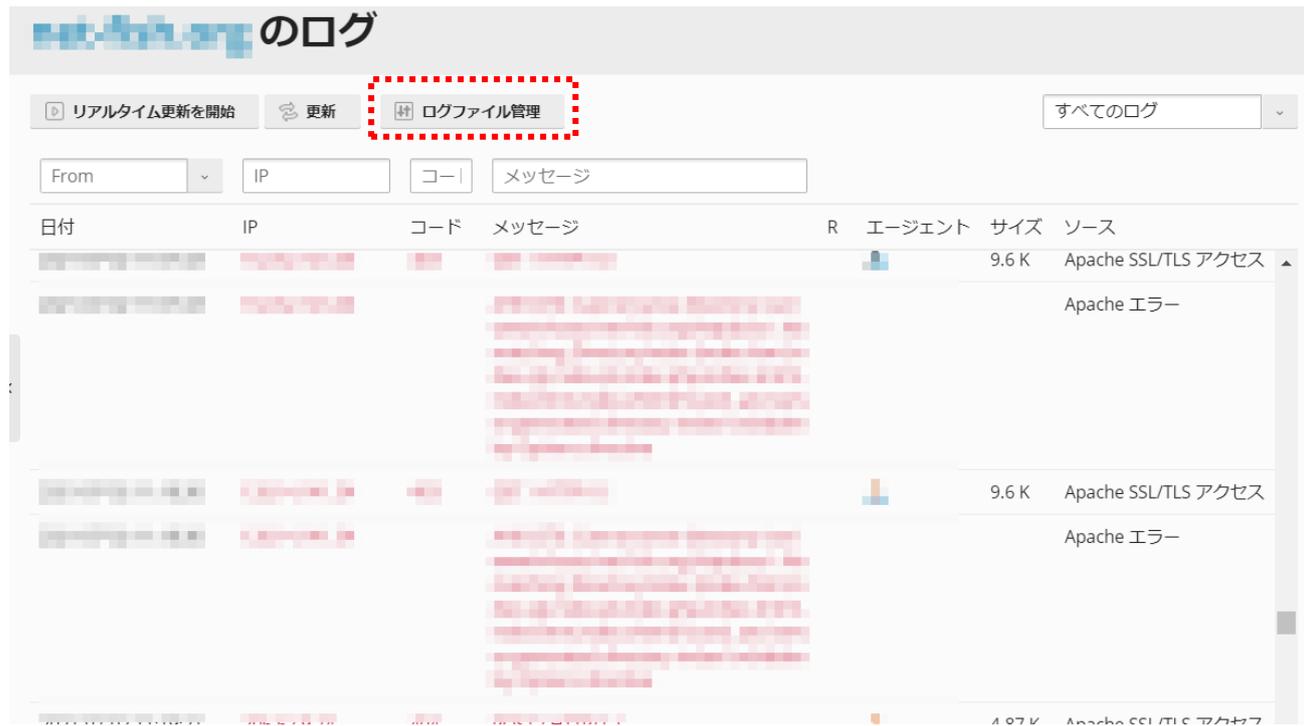
2、ログ内容を閲覧する事ができます。

The screenshot shows the 'ログ' (Log) viewer interface. At the top, there are controls for 'リアルタイム更新を開始', '更新', and 'ログファイル管理'. A dropdown menu shows 'すべてのログ'. Below are search filters for 'From', 'IP', 'コード', and 'メッセージ'. The main area is a table with columns: 日付, IP, コード, メッセージ, R, エージェント, サイズ, ソース. The table contains several entries, including 'Apache SSL/TLS アクセス' and 'Apache エラー'. The log messages are partially obscured by redaction.

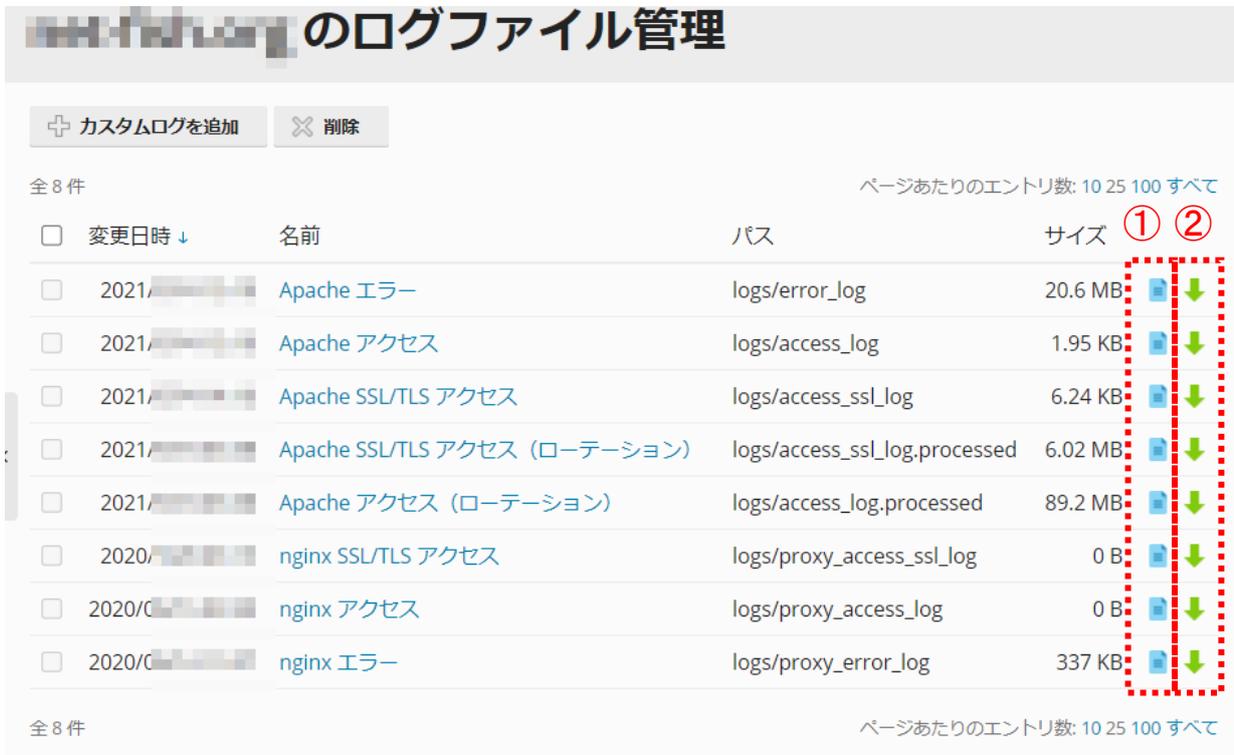
日付	IP	コード	メッセージ	R	エージェント	サイズ	ソース
						9.6 K	Apache SSL/TLS アクセス
						9.6 K	Apache エラー
						9.6 K	Apache SSL/TLS アクセス
						9.6 K	Apache エラー
						4.97 K	Apache SSL/TLS アクセス

【ログファイル管理】

3、「ログ」をクリック後、「ログファイル管理」をクリックします。



4、「ログ」をクリック後、画面右選択欄の「ログファイル管理」をクリックします。



①	選択したログを表示します。
②	選択したログをダウンロードします。

保護ディレクトリ

できること

httpdocs 配下の任意ディレクトリに ID・パスワードのベーシック認証をによる、アクセス制限の設定ができます。

制限事項

Web ユーザディレクトリには、本機能による設定はできません。

【アクセス制限の設定】

「ウェブサイトとドメイン」タブ>「パスワード保護ディレクトリ」を選択します。



1、画面移動後、「保護ディレクトリを追加」を選択します。



2、画面移動後、下記に従い設定を行います。

パスワード保護ディレクトリ >

サイト [redacted] 下に保護デ

設定

ディレクトリ名 * ①

ディレクトリの位置 ドキュメントルート
 cgi-bin

保護エリアのタイトル ②

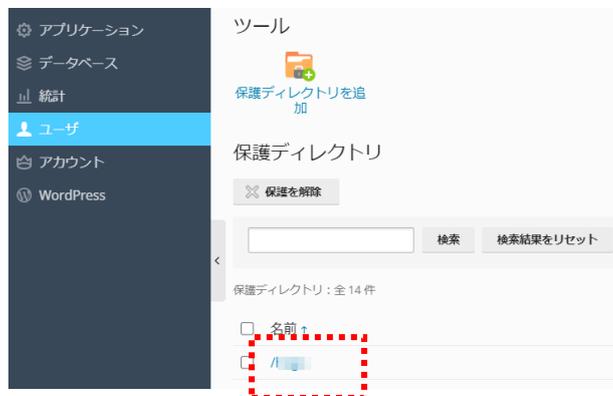
* 必須フィールド

OK キャンセル

①	アクセス制限したい対象となるディレクトリ名を入力します。
②	保護エリアのタイトルを入力します

※ご注意：半角英数でご入力ください。

アクセス制限対象となるディレクトリの ID、パスワードを設定します。対象となるディレクトリを選択してください。



3、画面移動後、「ユーザを追加」ボタンを選択します。



4、画面移動後、下記に従い設定を行います。

パスワード保護ディレクトリ >

保護ディレクトリ のユーザ

保護ディレクトリユーザ

ユーザ名 * ①

パスワード * ②

パスワードの確認 *

* 必須フィールド

①	アクセス制限対象となるディレクトリのログイン ID を入力します。
②	アクセス制限対象となるディレクトリのログインパスワードを入力します。

ドメインの Web ディレクトリ

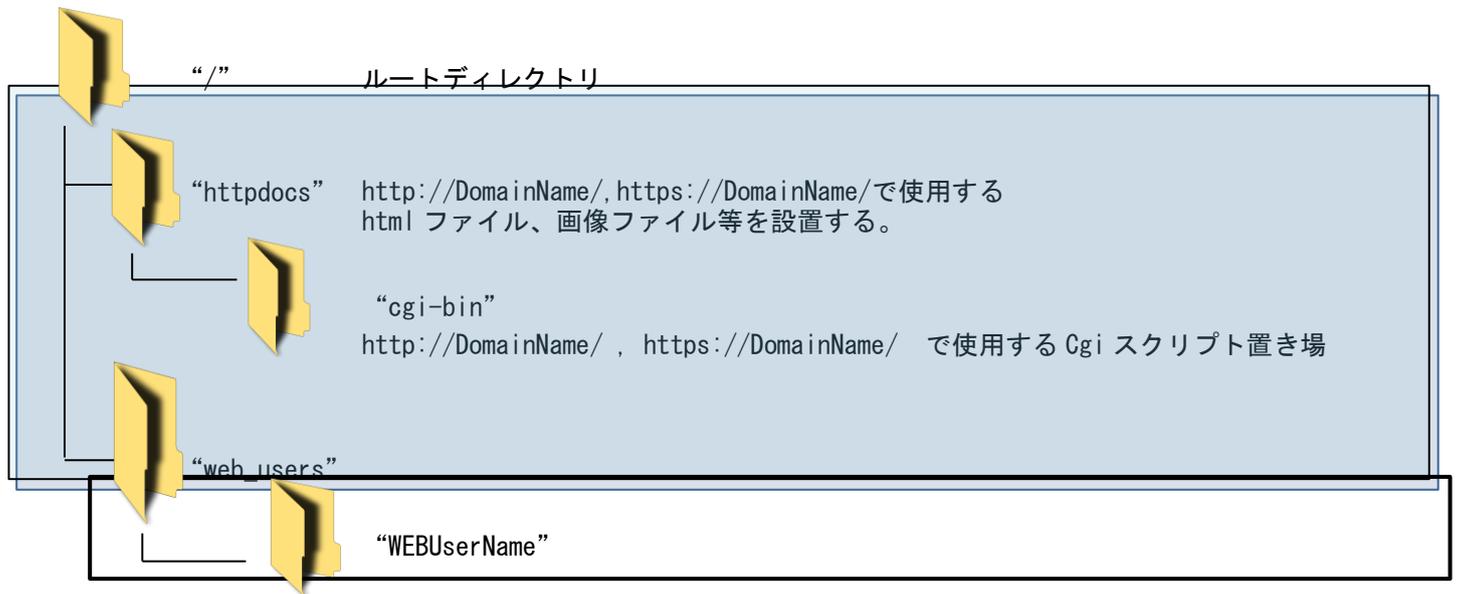
できること

- ・ 「.htaccess」がご利用いただけます。
- ・ 各種スクリプトがご利用いただけます。
- ・ FTP で、各種コンテンツファイル等をアップロード、ダウンロード等いただけます。

制限事項

- ・ 原則、cgi-bin ディレクトリで、cgi スクリプトをご利用いただけます。
- ・ 「.htaccess」では、Auth、Limit のみ上書き可能です。
- ・ HTTPS 通信を行われる場合、第三者機関が発行するサーバ証明書又は LetsEncrypt (WEB のみ) をご利用いただけます

【ディレクトリ構成について】



【ドメインコンテンツ類の配置について】

①http アクセスのコンテンツ配置

http://DomainName/、https://DomainName/で表示されるコンテンツ等については、httpdocs/ の下に配置してください。

②CGI スクリプト配置

http://DomainName/、https://DomainName/で動作する、各種 CGI スクリプトは、原則、cgi-bin/ の下に配置して下さい。

※cgi-bin のスクリプトエイリアスを Web サーバに設定しています。

WEB ユーザ

できること

- ・ WEB ユーザを登録・削除・編集します。
- ・ WEB ユーザに、「http://DomainName/~WEBUserName」の公開領域を付与し、該当公開領域を WEB ユーザに編集させる権限を与えます。

制限事項

- ・ Web ユーザ領域への、保護ディレクトリ機能による、ベーシック認証の設定はできません。
- ・ HTTPS による通信はできません。

ドメインユーザ管理画面から「Web ユーザ」ボタンをクリックします。

【WEB ユーザの追加】

1、「ウェブサイトとドメイン」タブ>（「展開」）>「ウェブユーザ」を選択します。



2、「ウェブユーザを追加」を選択します。



3、画面移動後、下記に従い設定を入力します。

ウェブユーザを追加

サーバに FTP 接続するためのユーザ名 *

パスワード * 生成 表示

パスワードの確認 *

SSI サポート

PHP サポート

CGI サポート ③

Perl サポート

FastCGI サポート

* 必須フィールド

OK キャンセル

①	WEB ユーザ名を入力します。ここで入力した文字列は下記の物に該当します。 ・ FTP で接続するためのユーザ名 ・ 「http://DomainName/~WEBUserName」の WEBUserName 部分に該当
②	FTP で接続するためのパスワードを入力します。
③	該当 web ユーザのディレクトリでチェックを入れたもの動作を認めます。

●WEB ユーザへの伝達事項

WEBサーバ情報			
FTP アクセス	ホスト名	www.domain-name	
	WEBユーザ	ユーザ名	管理者が作成したユーザ名
		パスワード	管理者が作成したパスワード
コンテンツの配置	全て / の下に配置		

【WEB ユーザのコンテンツ配置】

WEB ユーザ用の領域は、ルートディレクトリの web_users ディレクトリ配下に、“WEB ユーザ名”で作成されます。WEB ユーザは、ドメインユーザが作成した WEB ユーザ名、パスワードを用いて、FTP ログインすると、自身に割り当てられた領域をルートディレクトリとしてアクセスできます。

ウェブ統計

できること

WEB の訪問レポートを、視覚的にブラウザで閲覧することができます。

制限事項

実際の Web アクセス、FTP 実施等の時点より、数時間後にレポートに反映されますので、ご注意ください。
また、WEB ユーザも同一レポートになります。

【ウェブ統計の表示】

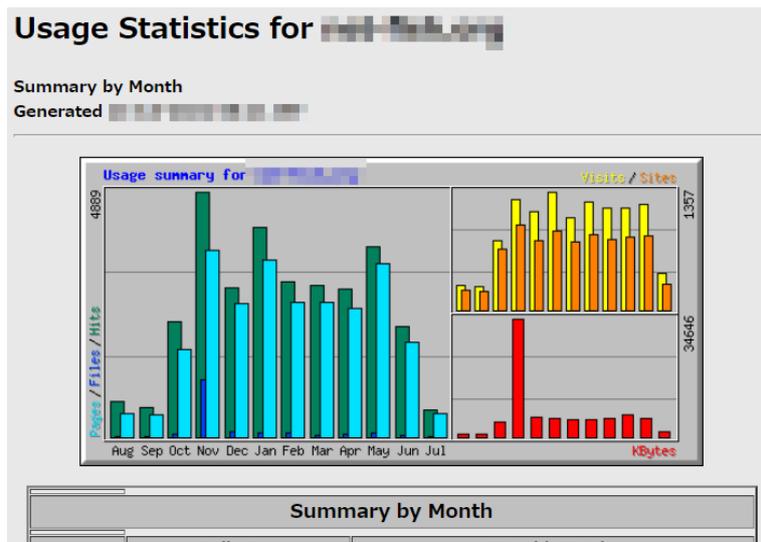
1、「ウェブサイトとドメイン」タブ>「ウェブ統計」もしくは「ウェブ統計 SSL/TLS」を選択します。



2、ユーザ名、パスワードの入力を求められます。ユーザ名、パスワードは下記に従い入力を行ってください。

ユーザ名	共有ホスティングサービス登録書内「FTP ID」
パスワード	共有ホスティングサービス登録書内「FTP パスワード」

3、入力後、Web 統計の画面が表示されます。



統計

できること

ドメインに関する各種レポートを、視覚的にブラウザで閲覧することができます。

【統計画面の表示】

1、ドメイン管理者画面>「統計」タブを選択します。

統計

契約で提供されているリソースの使用状況が詳細なレポートに表示されます。複数のプランを契約している場合、ページ右上隅で必要な契約を選択することにより、契約別のレポートを参照できます。

リソース	使用状況	制限
ディスクスペース	1.5 GB (1%)	200 GB
トラフィック	6.9 MB/月	無制限

サービスによる使用状況：

サービス	使用量
ウェブ	1.30 GB
データベース	34.6 MB
バックアップ	0 B
構成ファイル	8.00 KB
匿名 FTP ディレクトリ	20.0 KB
メール	364 KB
ログ	157 MB

サービスによる使用状況：

サービス	使用量
FTP	165 B
POP3/IMAP	0 B
匿名 FTP ディレクトリ	20.0 KB
HTTP	6.93 MB
SMTP	0 B

<メールユーザ向け>

メールユーザの設定管理

できること

- ・メールユーザパスワードの設定（メールユーザパスワード、メールパスワードの変更が行えます）
- ・メールアドレスの設定確認
- ・メールの転送設定（メールを他のアドレスへ転送することができます）
- ・ウェブメール
- ・自動メール返信設定（ユーザあてのメールに対し自動に返信を行う設定をします）

ご 注 意

- ・コントロールパネルにて自分自身のメールアドレスの設定変更ができるのはコントロールパネルへのログインが認められている場合のみです。

操 作 方 法

【ブラウザからメールユーザコントロールパネルへアクセス】

※URL は管理者の物と同じです

plesk web host edition

ユーザ名

パスワード

インターフェース言語

デフォルト

パスワードを忘れた場合

ログイン

Cookie

1. ブラウザのアドレス欄に、システム情報に記載されている、コントロールパネルの「URL」を入力し、サーバへアクセスします。

2. ドメインユーザが設定した「ユーザ名（メールアドレス）」、「メールユーザのパスワード」を入力しログインします。

【メールユーザコントロールパネルの利用】

ログイン後の下図のようなメールユーザコントロールパネルが表示されます。

メールアカウントに関する各種設定を変更する場合は「メールアカウント設定を変更」をクリックしてください。

メールに関する各種設定が下記画面から行えます。

【全般】

「全般」ではメールアドレスの基本的な設定が行えます。

全般 転送 メールエイリアス 自動応答

このメールアカウントに追加ユーザが紐付けられている（顧客パネルへのアクセスが有効が当該ユーザの設定にも適用されます。例えばメールアドレスとパスワードを変更すると、新しい値に変わります。

メールアドレス

外部のメールアドレス ①
メインのメールアドレスにアクセスできなくなった場合に、パ
スされます。

パスワード ②
メールボックスへのアクセス用と Plesk へのログイン用に使用さ
んが有効である場合）。

パスワードの確認

メールボックス オン

デフォルトサイズ 無制限 中、10.4 KB 使用

* 必須フィールド

①	メールにアクセスできなくなった時にパスワードのリセットに使用されるメールアドレスを登録できます。
②	メールアドレスのパスワードを変更できます。なお、ここを変更するとコントロールパネルのログインパスワードも変更した内容に変わります。

※パスワードとして登録できる条件は大文字と小文字、数字、記号をそれぞれ2回ずつ使用した8文字以上のパスワードです。

【転送について】

転送では、該当のメールアドレスで受信したメールを別のメールアドレスへ転送する設定が行えます。

「メール転送を有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、転送先となる別のメールアドレスを「転送先アドレス」に入力を行い(複数のアドレス指定が可能)「OK」ボタンをクリックします。

abc@xyz.tokyo.ac.jp

全般 **転送** メールエイリアス 自動応答

1つ以上のメールアドレスへのメールメッセージの転送をセットアップします。[全般]になっている場合、メールメッセージのコピーがメールボックスに保持されます。

メール転送をオンにする

受信メールを次のメールアドレスに転送

メールアドレスを指定してください。複数のアドレスを入力するコンマ、またはセミコロンで区切ります。

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

【メールエイリアス】

メールエイリアス機能とはメールアドレスに対して、別名（エイリアス）のメールアドレスを設定できる機能です。メールエイリアスのアドレス宛に届いたメールは、設定元のメールアドレスに配信されます。メールユーザコントロールパネルでは設定は行えませんが、設定されている内容を確認することができます。

abc@xyz.tokyo.ac.jp

全般 転送 **メールエイリアス** 自動応答

メールエイリアスとは、プライマリメールアドレスと紐付けられている代替メールアドレスのすべてのメールがプライマリメールアドレスで受信されます。

メールエイリアス	なし
----------	----

* 必須フィールド

OK 適用する キャンセル

【自動返信】

自動返信ではメールを受信した際に自動的にメールを返信する設定が行えます。長期休暇時などメール返信が行えない時に使用します。

全般 転送 メールエイリアス **自動応答**

自メールアドレス宛てのすべてのメールメッセージ用に自動応答をセットアップします。

① 自動応答をオンにする

自動応答メールの件名 * ②

メッセージ形式 ③ テキスト
 HTML
テキスト形式はあらゆるメールクライアントプログラムで処理されるように作成した通りに受信者に表示されます。一方、HTMLスタイルを用いて書式付きのテキストを入力できるため、見えます。ただし、HTMLメッセージに対応しないクライアントでは書式付きテキストが表示されない可能性があります。

エンコーディング ④ エンコーディングは、テキスト文字をどのように表示するかを決定します。デフォルトのエンコーディングはUTF-8です。

自動応答メールのテキスト ⑤

転送先 ⑥ 自動応答の送信時に、ここで指定されたメールアドレスへオリジナルのメールを送信します。

同一メールアドレスに対する自動応答の送信回数上限 (1日あたり) * ⑦

⑧ 指定日に自動応答をオフにする 12 ▼ 7月 ▼ 2021 ▼

* 必須フィールド

①	自動返信を有効にしたい場合はチェックを入れます。
②	自動返信メールの件名になります。変更しない場合は「Re: “相手のメール件名”」になります。
③	メール形式をテキスト/HTML から選択：通常、テキスト形式で問題ありません。
④	文字エンコーディング：特別な状態でない限りは、UTF8 で問題ありません。
⑤	自動返信メールの本文を入力します。
⑥	自動返信有効時に受信したメールの転送を行いたい場合は転送先メールアドレスを記載します。
⑦	送信元が同じメールアドレスの場合、ここで指定する回数まで自動返信します。
⑧	チェックを入れると右に指定した日に自動返信がオフになります

【ウェブメール】

外出時等にメール確認を行いたい場合、ウェブメールを使用する事でブラウザ（インターネットエクスプローラ）等を利用して確認する事ができます。

ウェブメール内で迷惑メールを「Spam」フォルダに移動を行うと、スパムフィルタを有効に設定している場合、迷惑メールの認識率が上がります。

1、メールタブ>「ウェブメールを開く」を選択します。

※ウェブメールが有効化されていない場合は、表示されません



もしくはインターネットブラウザの URL 欄に「https://webmail.ドメイン名」を入力します。



2、webmail のログイン画面が表示した後、「ユーザ名」に電子メールアドレス、「パスワード」に「電子メールアドレスのパスワード」を入力して、ログインボタンをクリックしてください。

Username

Password

Mode
Automatic

Language
Japanese (日本語)

Log in

または

ユーザー名

パスワード

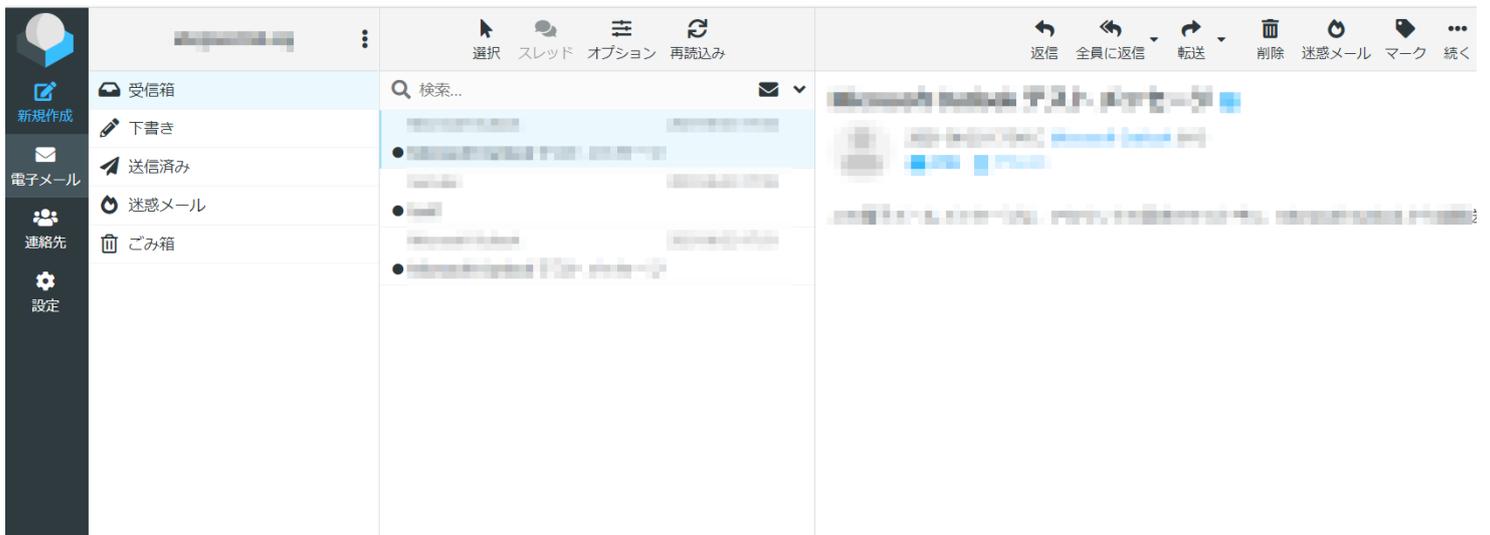
ログイン

Roundcube Webmail

3、ログイン後、「メール」を選択する事でメールサーバに残っている「電子メール」を確認できます。



※ウェブメールに「Roundcube」を選択した場合

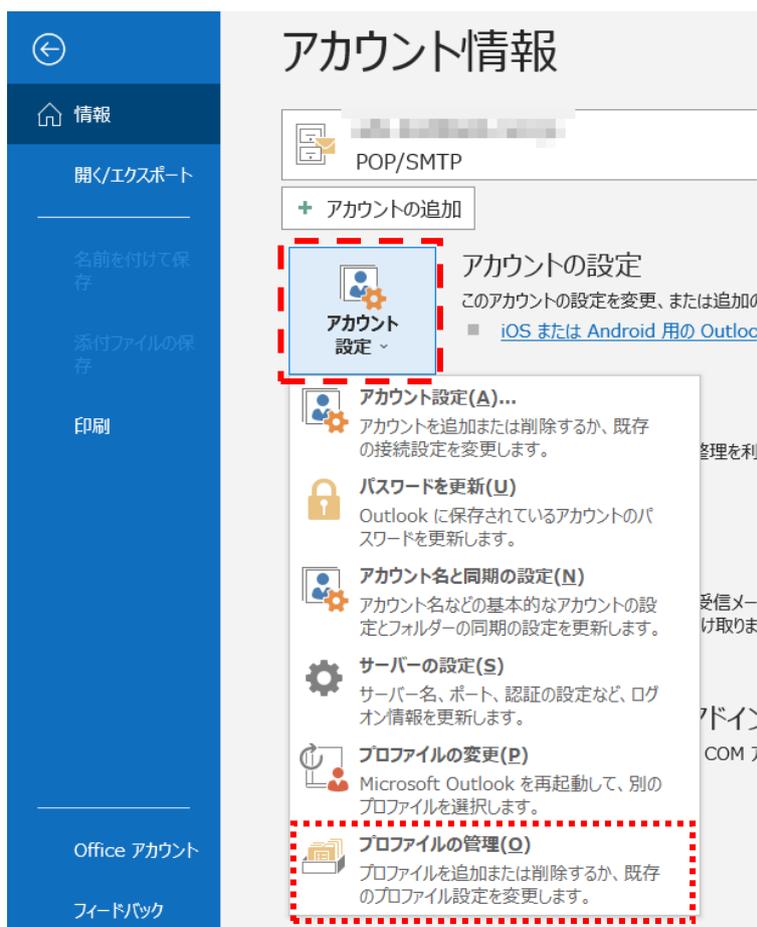


メールソフトの設定

ここではホスティングでアカウント登録した後にメールアドレスをパソコンに設定する方法を説明致します。

※なお、下記の項目に記載されている例は、使用メールソフトが Outlook の場合です。他のメールソフトの場合は適時読み替えてください。

1、Outlook を立ち上げましたら、左上の「ファイル」メニューから「情報」>「アカウント設定」>「プロファイルの管理」をクリックしてください。



2、「電子メールアカウント」をクリックしてください

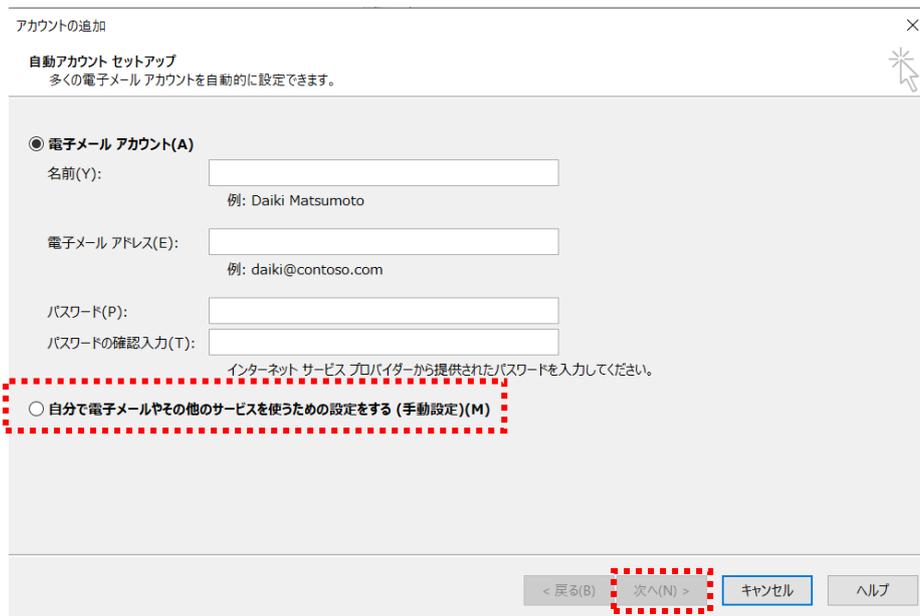


3、「新規」をクリックします(この画面が表示されない場合は次の項目へ進みます)



4、アカウントの追加「自動アカウントセットアップ」画面が表示されます

「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)」を選択し、次へをクリックします



5、「POP または IMAP」を選び次へをクリックします



6、各項目について入力を行ってください。

×



アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報

名前(Y): ①

電子メール アドレス(E): ②

サーバー情報

アカウントの種類(A): ③ POP3

受信メール サーバー(I): ④

送信メール サーバー (SMTP)(O): ⑤

メール サーバーへのログイン情報

アカウント名(U): ⑥

パスワード(P): ⑦

パスワードを保存する(R)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

アカウント設定のテスト(T)

[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

新しいメッセージの配信先:

新しい Outlook データ ファイル(W)

既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B)

次へ(N) >

キャンセル

ヘルプ

①	メール送付先に表示される名前です。任意の文字を入力してください。
②	管理者が作成したメールアドレスを入力してください。
③	pop3 を選択ください。
④	「pop. ドメイン名」を入力ください。
⑤	「mail. ドメイン名」を入力ください。
⑥	管理者が作成したメールアドレスを入力してください。(②と同じ)
⑦	パスワードを入力ください。

※①～⑦を入力後、右下の「詳細設定」をクリックしてください。

7、先ほどの画面右下の「詳細設定」をクリックします

「送信サーバー」のタブをクリックし、「送信サーバー (SMTP) は認証が必要」のチェックをオンにします

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U)

次のアカウントとパスワードでログオンする(L)

アカウント名(N):

パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(I)

8、「詳細設定」タブに切り替え、「送信サーバー (SMTP)」の箇所を標準の 25 から 587 に変更します

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 標準設定(D)

このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O):

使用する暗号化接続の種類(C):

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1 分

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(R) 後

[削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

9、詳細設定画面から戻りましたら「次へ」をクリックします

アカウントの変更 ×

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y):
電子メール アドレス(E):

サーバー情報
アカウントの種類(A):
受信メール サーバー(I):
送信メール サーバー (SMTP)(O):

メール サーバーへのログオン情報
アカウント名(U):
パスワード(P):
 パスワードを保存する(R)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
アカウント設定のテスト(T)
 [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

[詳細設定\(M\)...](#)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

10、テスト結果が正常になれば「閉じる」をクリックし、「完了」をクリックし設定終了です。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S) 閉じる(C)

タスク	エラー
タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) への...	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

アカウントの変更 ×

すべて完了しました
アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。

< 戻る(B) 完了 ヘルプ

FTP ソフトの設定

FTP ソフトを（無料で配布されているものも多数あります）を使って、ファイルのアップ/ダウンロードを行います。 ※ここでは代表的なフリーFTP ソフトである FFFTP を使って説明いたします。

- 1、ダウンロードした「FFFTP」をクリックし、「接続」→「ホストの設定」をクリックします。
- 2、「ホスト一覧」から「新規ホスト」ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。

①	任意の名称を入力してください（この設定に対する名称）
②	システム情報に記載されている「FTPサーバ名」を入力してください
③	システム情報に記載されている「FTP ID」を入力してください
④	システム情報に記載されている「FTP パスワード」を入力してください ※変更した場合は変更後のパスワードになります
⑤	空白でも問題ありませんが、ホームページのデータがある場所が決まっている場合は指定しておくとう便利です
⑥	空白でも問題ありませんが、/httpdocs と入力しておくとう HP アップロード先にすぐにアクセスできます。

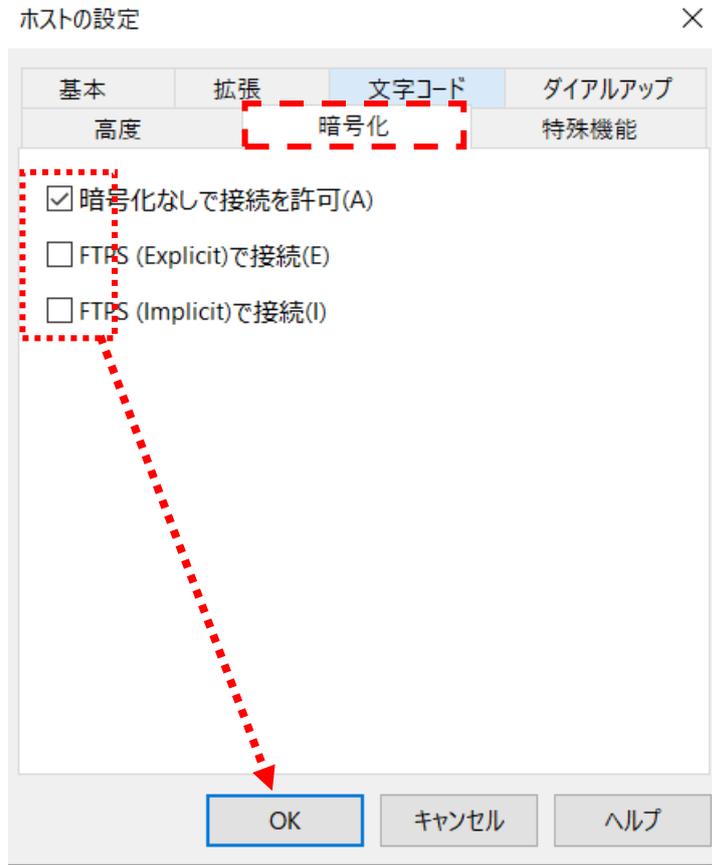
※「OK」ボタンを押す前に次の設定項目を確認ください

3、次に「暗号化」タブをクリックし、画面の通りにチェックを行い「OK」をクリックします

「暗号化なしで接続を許可」のチェックをオンにします

「FTPS (Explicit)で接続」のチェックをオフにします

「FTPS (Implicit)で接続」のチェックをオフにします

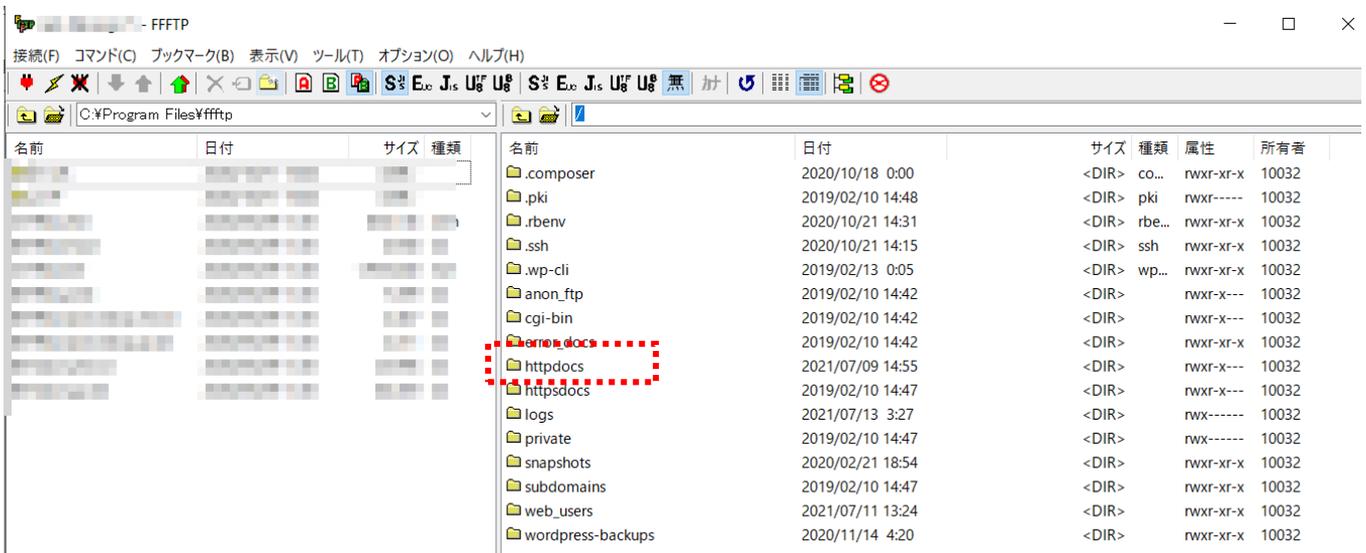


■ ホームページをアップロードします。

1. ダウンロードした「FFFTP」をクリックし、FTPソフトを開きます。
2. 「ホスト一覧」より設定した「ホスト名」が選択されているのを確認し、「接続」をクリックします。



3. 下記の画面が表示されましたら、「htdocs」をダブルクリックしてください。



4. htdocs の中に HP のデータをドラッグする事でアップロードができます。画面左上の「フォルダの移動」ボタンからパソコンの中にあるホームページデータのあるフォルダを選択後、画面右側へデータをドラッグしアップロードしてください。

